

研究機関連携強化事業業務委託にかかる質問への回答

	質問	回答
1	<p>●公募要領＞5 企画提案書類の提出＞提出方法</p> <p>「電子データおよび紙」との記載がありますが、郵送または持参時に電子データを保存する媒体に指定はあるでしょうか。例：CD、SDカード、USBメモリなど。</p>	<p>電子データをご提出いただく際の記録媒体は、CDまたはDVDとしてください。</p> <p>なお、参加申込後にデータ共有フォルダ（OneDrive）をご案内いたしますので、当該フォルダを利用した電子データの提出も可能です。</p>
2	<p>●公募要領＞5 企画提案書類の提出＞（2）企画提案書本体（任意様式）の記載事項</p> <p>県内外の関係機関やスタートアップ支援センター等との連携についてご提案するあたり、過年度までに当該事業を通じて、すでに連携している先のリストを開示いただけるようでしたらお願いします。</p>	<p>過年度における連携機関の個別リストについては、公開しておりません。</p> <p>本事業における連携については、企画提案者のネットワークや強みを活かし、効果的な連携体制を提案してください。</p>
3	<p>●公募要領＞9 スケジュールについて</p> <p>6/17に予定されているプレゼンテーションの開催方法が決まっていれば教えてください。</p> <p>山梨県内現地開催かオンライン開催かいずれかの指定があればご教示ください。</p>	<p>オンラインでの審査会を予定しております。詳細については参加者に個別にご連絡いたします。</p>
4	<p>●仕様書＞3 委託業務の内容＞（3）県内企業の募集・選定</p> <p>「県内企業の募集に当たっては、県においても関係する団体などに声かけを行う予定である。」とありますが、具体的な関係団体の名称などを教えていただくことはできるでしょうか。</p>	<p>県においても、大学、金融機関、産業団体等を想定し、県内企業の募集に関する周知・声かけを行う予定です。</p> <p>ただし、現時点において、具体的な声かけ先となる特定の団体名をお示しすることはできません。</p>
5	<p>●仕様書＞3 委託業務の内容＞（5）プロジェクトのブラッシュアップ</p> <p>各プロジェクトに1名以上の専門家をつけるとありますが、1名の専門家が複数のプロジェクトを担当してもよいのでしょうか。それとも異なる専門家が担当する必要があるでしょうか。</p>	<p>1名の専門家が複数のプロジェクトを担当することは可能です。</p> <p>ただし、各プロジェクトに対して十分な支援が行える体制としてください。</p>

6	<p>●仕様書> 3 委託業務の内容> (5) プロジェクトのブラッシュアップ</p> <p>以下の通り、金銭的支援に関する言及がありますが、委託料の中から受託事業者が支出する必要があるでしょうか。また、試作品製作費や実証実験経費の想定金額があればご教示ください。</p> <p>・選定された研究シーズの担当者が県内へ訪問するための交通費および宿泊費、試作品制作費、実証実験経費などへの金銭的支援</p>	<p>選定された研究シーズの担当者の交通費・宿泊費、試作品製作費、実証実験経費等については、原則として受託事業者において委託料の範囲内で必要な支援を実施していただくことを想定しています。</p> <p>なお、これらに係る具体的な支援内容や金額配分については、企画提案の内容や支援対象とするプロジェクトの内容等に応じて決定されるものであるため、現時点で一律の想定金額をお示しすることはできません。</p>
7	<p>●仕様書> 3 委託業務の内容> (6) 成果発表会の開催</p> <p>令和7年度はやまなしアクセラレーションプログラムと合同での成果発表会を実施していましたが、令和8年度も合同実施が前提となるでしょうか。</p>	<p>令和8年度の成果発表会の実施方法については、現時点では未定であり、他プログラムとの合同実施を前提とするものではありません。</p> <p>単独での実施または他の支援施策との連携を含め、効果的と考えられる実施方法を企画提案においてご提案ください。</p>
8	<p>●仕様書> 4 その他> (8)</p> <p>受託者は契約締結日までに、複数に一斉メールを送信する際に TO や CC で送信する誤りを防止するためのシステムやツールを導入すること、とありますが当該ツールの導入費用も委託料の中から受託事業者が支出する必要があるでしょうか。</p>	<p>複数に一斉メールを送信する際に TO や CC で送信する誤りを防止するためのシステムやツールについては県の事業を受託するに当たり満たすべき要件となります。受託事業者が負担のうえ導入をお願いいたします。</p>
9	<p>●県の優先領域</p> <p>県として、当事業を通じた連携を優先的に実施したいと考えている事業領域があればご教示ください。</p>	<p>山梨県としては、医療機器、水素・燃料電池、航空宇宙防衛等の分野を成長産業と位置づけています。ただし、本事業においては、これらを含め、特定の分野を優先的に取り扱うものではありません。それ以外の分野であっても県内経済へ寄与するものであれば分野は問いません。</p>
10	<p>●過去の採択者</p> <p>過年度の当事業採択者のリストを開示いただけるようでしたらお願いします。</p>	<p>次の3つの連携プロジェクトを採択しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(一社) 小さな水 (山梨大学) と (株) 内藤ハウス ・山梨大学松谷准教授とサノヤスホールディングス (株) ・(株) アクューゼと (株) ミラプロ

11	<p>●研究シーズ応募数</p> <p>過年度までの事業においては、研究シーズ3件の採択に対して応募は何件ありましたでしょうか。</p>	<p>応募件数は3件でした。</p>
12	<p>●県内企業へのアプローチご協力の有無</p> <p>シーズ発掘や事業説明会等各種募集に際して、県において直接的な関わりのある県内企業へのダイレトリクルーティング、県内メディアや関係団体と受託会社との橋渡し等、県の各機関の協力も得られるでしょうか。それとも全ての募集活動は受託会社に一任されるでしょうか。</p>	<p>県においても、関係団体等への周知や連絡調整、橋渡しなど、可能な範囲で協力を行う予定です。</p> <p>ただし、県内企業の募集を含む各種活動については、受託事業者において主体的に計画・実施していただくことを想定しています。</p>
13	<p>●事業説明会および成果発表会の開催方法</p> <p>事業説明会及び成果発表会はオンライン開催ではなく、現地開催という理解でよろしいでしょうか。その場合、開催場所については県庁または県関係施設等を使用することは可能でしょうか。想定される会場がある場合、会場使用料は委託料の中から受託事業者が支出する必要があるでしょうか。</p>	<p>事業説明会及び成果発表会については、主に現地開催を想定しておりますが、オンライン併用等を含め、より効果的な実施方法がある場合は提案を妨げるものではありません。</p> <p>開催場所については、山梨県立スタートアップ支援センター（CINOVA YAMANASHI）の活用を想定しており、当該施設を使用する場合の会場使用料は不要です。</p> <p>なお、その他の施設等を使用して開催する場合や、追加的に必要となる経費については、委託料の範囲内で受託事業者においてご負担いただくことを想定しています。</p>
14	<p>●山梨県内への訪問頻度</p> <p>受託事業者が山梨県内での業務遂行を求められる機会はどの程度あるでしょうか。頻度や内容について差し支えない範囲でご教示ください。※提案書の中で提案した取り組みは除きます。</p>	<p>受託事業者の県内での業務遂行の頻度については、企画提案の内容や支援対象とするプロジェクトの内容、事業運営の方法等に応じて決まるものであり、一概にお示しすることはできません。</p> <p>なお、県との打合せについては、Web会議等による実施も可能です。一方で、事業説明会や成果発表会等の各種イベントの実施、支援対象企業等への対応などにおいては、必要に応じて県内での対応が発生することを想定しています。プロジェクトの支援に当たっては、目的や状況に応じて効果的な方法により実施してください。</p>
15	<p>●山梨県ご担当者様および採択者とのコミュニケーションツール</p> <p>業務遂行上のコミュニケーションに当たり、県のポリシーなどで使用を制限されているツールはあるでしょうか。Zoom、Slack、LINEなどの活用を想定しています。</p>	<p>業務遂行上のコミュニケーションツールについては、ZoomやSlackなどは利用可能ですが、県の情報セキュリティポリシー等に基づき、一部機能や利用方法に制限が生じる場合があります。</p> <p>一方、LINEについては業務上の利用は想定していません。具体的な運用については、受託後に県と協議のうえ適切なツールを選定していただきます</p>

16	<p>●メディアやSNS</p> <p>県として活用を想定している既存のメディアやSNSアカウントがあればご教示ください。特に、本事業において、集客などに使用できるWEBサイトやSNSのうち、県として管理しているものがあればご教示ください。</p>	<p>以下のHPを活用可能です。</p> <p>山梨県公式HP (https://www.pref.yamanashi.jp/)</p> <p>STARTUP YAMANASHI (https://startup.pref.yamanashi.jp/)</p> <p>その他については必要に応じて活用を検討します。具体的な運用については受託者と協議のうえ決定いたします。</p>
17	<p>●事業の愛称</p> <p>ナシラボという名称は今後も継続的に使用していく意向があるでしょうか。変更する可能性や変更の提案も可能でしょうか。</p>	<p>事業名称については変更を制限するものではありません。</p> <p>より効果的なブランディングに資する提案があれば、併せて提案可能です</p>